祝・滋賀県立彦根西高等学校１３０周年

滋賀県立彦根西高等学校１３０周年にあたり

１８８６年（明治１９年）創立の滋賀県立彦根西高等学校は、2016 年（平成 28 年）に１３０周年を迎えました。『記念誌』の刊行に先立ち、同窓会とＰＴＡ合同の広報紙『芹川』で特集を組みました。

祝
滋賀県立彦根西高等
130 周年

女学校、彦根町立高等女学校、滋賀県立彦根高等女学校、滋賀県立彦根高等女学校と戦前すでに幾たびか校地と校名を変更しつつも、滋賀県立彦根高等女学校時代には、滋賀県下の女学校で最伝統校であるのみならず、全国でも屈指の伝統を誇る女学校としてその名を馳せました。

戦後においては、滋賀県立彦根西高等学校、滋賀県立彦根高等学校西校舎を経

在の滋賀県立彦根翔陽学校の前身となる「彦高等学校」として分離などの流れを経て創立１３０年の歴史を重ねました。

そしてこの年度末の30年3月、本校の伝統校の「滋賀県立彦根翔高等学校」へと引き継ます。

本号では滋賀県立彦高等学校の１３０年の歩を振り返りたいと思い

滋賀県立彦根高等女学校

○滋賀県立彦根高等女学校
校歌（一番）
朝日かゞよふ琵琶の湖
清き豊けき心もて
至誠の鏡とぎすまし
み空をひたす美はしさ
我等がさとし是なれや

藤川助三・作詞、多田操・作曲。藤川助三は彦女国語

科教諭、多田操は彦女科教諭。昭和４（１９２９）年5月27日制定

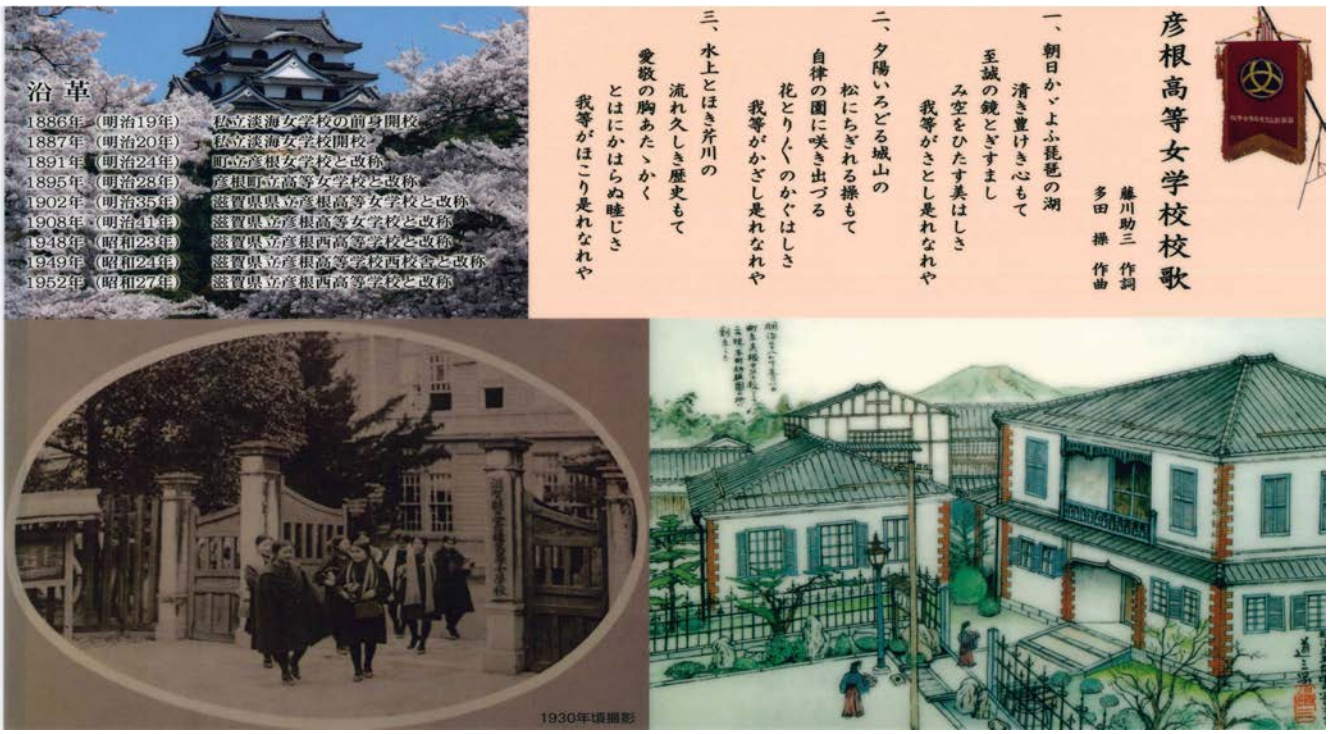
○校章・校旗
校章は、「彦女」の文字をデザイン化したもの。校旗は昭和天皇の御紋に間に合わすべく制作された。

滋賀県立彦根西高等学校

○滋賀県立彦根西高等学校
校歌（一番）
真青に澄める鴎の湖
朝さわやけくひかる風
沖に未来を想ひつつ
知と技ふかく究めむと
友垣かたく結ばれし
われら集へり彦根西
掲げよその名（繰返し）

松村富子・作詞、信時潔・作曲。松村富子は西高国語科教諭、信時潔は、『かば』も作曲した山田耕筰と並ぶ作曲家。昭和（１９５６）年2月18日

○校章・校旗
校章は昭和27（１９５２）学期に制定。「西高」の文字と「高」をデザイン校旗は昭和28（１９５３）12月24日制定。松葉地緑）に金色の校章と校配した。



沿革

1886年（明治19年）	私立湖海女学校の前身開校
1887年（明治20年）	私立湖海女学校開校
1891年（明治24年）	町立彦根女学校と改称
1895年（明治28年）	彦根町立高等女学校と改称
1902年（明治35年）	滋賀県県立彦根高等女学校と改称
1908年（明治41年）	滋賀県立彦根高等女学校と改称
1948年（昭和23年）	滋賀県立彦根西高等学校と改称
1949年（昭和24年）	滋賀県立彦根高等学校西校舎と改称
1952年（昭和27年）	滋賀県立彦根西高等学校と改称

彦根高等女学校校歌

藤川助三　作詞
多田　操　作曲

一、朝日かゞよふ琵琶の湖
清き豊けき心もて
至誠の鏡とぎすまし
み空をひたす美はしさ
我等がさとし是なれや

二、夕陽いろどる城山の
松にちぎれる操もて
自律の園に咲き出づる
花とりくのかぐはしさ
我等がかざし是なれや

三、水上とほき芹川の
流れ久しき歴史もて
愛敬の胸あたゝかく
とはにかはらぬ睦じさ
我等がほこり是なれや

1930年頃撮影